

## 署長あいさつ



松前町・福島町の皆様、はじめまして。

令和6年3月25日付けで、松前警察署長として着任しました 品田 優人（しなだ まさと）です。

歴史ある松前町と福島町を管轄する警察署に着任し、その重責を強く感じているところです。

松前町と福島町の安全・安心を守るため、これまで同様、署員一丸となって尽力しますのでご協力をお願いします。

さて、4月に入り、雪も徐々に溶け、まもなく桜の開花を迎える活動期となりますが、皆様に対し、次の3点についてお知らせします。



1点目が、「春の全国交通安全運動の実施」についてです。

「春の全国交通安全運動」が、4月6日（土）から4月15日（月）の10日間実施されます。

この運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けて頂くとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

なお、この運動の重点は、

- 1 こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 3 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- 4 飲酒運転の根絶
- 5 スピードダウンと全席シートベルト着用の徹底

です。

当署では、この運動期間中、自治体や関係団体の皆様とともに啓発活動を実施するほか、交通違反の取締りなどを実施し、交通安全意識の高揚と交通事故防止の徹底を図ることとしています。

次に、2点目が、「春のヒグマによる人身被害の防止」についてです。

ヒグマとの事故を防ぐために、次の点に注意願います。

- 複数で行動し、音で存在を知らせましょう。

野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。

入山するときは、クマ鈴やラジオ等を持ち、会話しながら、人の存在を知らせましょう。

また、万が一、ヒグマに遭遇し、襲いかかってきた時は、クマ撃退スプレーが有効ですので、クマ撃退スプレーも持つようにしましょう。

- ヒグマの出没情報等に気を付けましょう。

ヒグマは、市街地、公園、河川敷、緑地帯など、身近な場所にも潜んでいる可能性があります。

自治体のホームページや、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認しましょう。

- 残飯や生ゴミの処理には注意しましょう。

ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。

ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

- フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう。

ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。

- 落ち着いて行動しましょう。

ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動しましょう。

逃げたり、さわいだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険があります。

リュックや持ち物は回収せず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。



最後に、3点目が、「山菜採りによる遭難の防止」についてです。

例年、4月に入ると、行者ニンニクやタケノコ等の山菜を求めて入山し、山中で道に迷ったり、沢に転落する事故が発生しています。

慣れた山でも、油断による「危険な落とし穴」があることを忘れず、次の点に注意願います。

- 行き先を家族に伝えましょう。

行き先が分からないと、捜索開始が遅れます。

行き先や帰宅時間を家族に伝えましょう。

- 無理に山奥に入らないようにしましょう。

慣れた山でも、油断は禁物です。

自分の体力や体調、天候や時間に合わせた行動をしましょう。

- 単独での入山は避けましょう。

万が一、迷ったり、怪我をした場合、一人では救助要請ができません。

なるべく、複数で出掛けましょう。

また、山の中では、絶えず声を掛け合いながら、お互いの位置を確認しましょう。

- 目立つ色の服装で入山しましょう。

万が一遭難した場合、ヘリコプターが上空から救助に向かう場合もあります。

上空からは、赤色や白色系の服装が目立ち、発見されやすくなります。

- 携帯電話やホイッスルを持ちましょう。

携帯電話があれば、非常時の連絡手段として、助けを求めることができます。

また、ホイッスルがあると、周囲に自分の存在を知らせることができます。

以上のことについて、よろしくお願ひします。

令和6年4月1日

松前警察署長

品 田 優 人